

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
仙台総合ペット専門学校		昭和58年10月22日	菅原 一博		〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-20 (電話) 022-221-1112																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人 菅原学園		昭和35年3月26日	理事長 菅原 一博		〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-10 (電話) 022-221-1111																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
文化・教養	専門課程	PRO DOG TRAINER科			平成27年 文部科学省告示第13号	—																					
学科の目的	トレーニングのみならず幅広い知識を身につけ、様々な角度からペットオーナーをサポートできるドッグトレーナーを育成することを目的とする。在学中に仔犬を飼育することで、自身の飼育経験に基づいたトレーニングプログラムの考案や犬のライフステージに合った飼育方法、高度なケア技術を身に付けた人材育成を目指す。また、お客様をはじめ、地域の方々、スタッフ間での円滑なコミュニケーションをとるために、校内清掃やあいさつ運動、接客実習にも取り組み、周囲に対する心配りと率先して行動する力を養うことも目的である。																										
認定年月日	平成29年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
3年	昼間	3,366時間	1,224時間	—	2,142時間	—	—																				
単位時間																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
60	32人	0人	6人	14人	20人																						
学期制度	■第1学期:4月1日～9月30日 ■第2学期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合勘案して行う。評価は、100点法とABCDの4段階法を併用して行い5割以上(C段階以上)の評価で合格とする。																						
長期休み	■夏季:7月25日～8月21日 ■冬季:12月24日～1月10日 ■春季:3月21日～4月10日			卒業・進級条件	各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し進級および卒業を認める。卒業については、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認めた者とする。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・担任、科長との面談・保護者連絡の実施 ・スクールカウンセラーとの面談実施			課外活動	■課外活動の種類 文化祭・スポーツ大会・盲導犬ボランティア活動 ■サークル活動: 無																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) しつけ教室・動物病院・ブリーダー ■就職指導内容 1年次:業界理解、電話対応、履歴書作成 2年次:自己理解、個人面談、履歴書作成 3年次:求人紹介、個人面談 ■卒業生数: 6人 ■就職希望者数: 6人 ■就職者数: 6人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他:			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JKC公認訓練準士補</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>家庭動物管理士3級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 平成28年度 JKC仙台全犬種トレーナーズクラブ 東北ブロック 仙台アジリティークラブ 主催 訓練・アジリティークラブ 入賞			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	JKC公認訓練準士補	③	6人	6人	愛玩動物飼養管理士2級	③	6人	6人	家庭動物管理士3級	③	6人	6人	ビジネス能力検定3級	③	6人	6人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
JKC公認訓練準士補	③	6人	6人																								
愛玩動物飼養管理士2級	③	6人	6人																								
家庭動物管理士3級	③	6人	6人																								
ビジネス能力検定3級	③	6人	6人																								
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成28年4月1日時点において、在学者29名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者28名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセリングルームの設置に加え、定期的に学校満足度・学校生活意欲調査を実施し、学生一人ひとりの抱える悩みを把握し個別面談に活かしている。また、必要に応じて保護者を含め担任、科長、教頭との面談を実施している。																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・菅原学園 特待生制度 ・菅原学園 奨学金制度(給付型奨学金) ・菅原学園 各種優遇制度(部活動優遇、課外活動優遇、皆勤優遇、資格・検定優遇、親族優遇) ・菅原学園 卒園児優遇制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 <u>非給付対象</u>																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 <u>無</u>																										
当該学科のホームページURL	http://www.sugawara.ac.jp/pet/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業と連携を取りながら、業界における人材の専門性の動向や実務に関する最新の知識・技術・技能、そして教育課程編成に関連する事項等について審議する機関として、規程に定め設置している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
菊地 明美	一般社団法人 全国ペット協会 理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
石井 あゆみ	leaf dog オーナー	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
池田 寛明	ねこコレ 新潟市役所前店 オーナー	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
角田 正文	バル動物病院 院長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
磯村 直樹	Dog House Love Walk オーナー	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
関根 祐一	D&H united ワイワイペット利府店	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
渡辺 圭	ペットエコ ザ・モール長町店 店長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
梅川 明寛	仙台総合ペット専門学校 副校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
菅原 努	仙台総合ペット専門学校 教頭	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
菅原 学	仙台総合ペット専門学校 教務課 課長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
岩淵 聖矢	仙台総合ペット専門学校 トリマー科 科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
千葉 稚菜	仙台総合ペット専門学校 キャット科 教員	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
藤本 友樹	仙台総合ペット専門学校 動物衛生看護科 科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
千葉 雅司	仙台総合ペット専門学校 PRO DOG TRAINER科 科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
澤口 桂	仙台総合ペット専門学校 ドッグトレーナー科 科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員
笹山 千穂	仙台総合ペット専門学校 飼育管理科 科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	学校職員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年に2回以上開催する。開催時期については、カリキュラム編成や外部委員の方々の都合等を総合的に判断して決定する。

(開催日時)

第1回 平成29年7月3日(月) 13:00～15:00

第2回 平成29年2月中旬 13:00～15:00(実施予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「学生のコミュニケーション力」や「説明する力」を向上させる取組について意見をいただいた。PRO DOG TRAINER科の学生が就職先として目指しているペットショップやしつけ教室ではお客様に「噛み癖」や「吠え癖」を直すためのしつけ方法を伝えたり、犬・猫の飼養方法を説明する機会が多くある。授業の中で専門用語だけではなくお客様が理解できる言葉で説明する力や話を聞き出す力の必要性、また、年配の方が動物を飼養する機会が増えてきているため、話すスピードや言葉の使い方などお客様に合わせた様々なパターンの説明の仕方について学ぶ機会を増やした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業をとおりて業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

警察犬、災害救助犬、家庭犬などの訓練・育成を行っている訓練所と教育協定を結び、実践に即した実習授業を実施する。これらを必修科目とし、連携して指導及び評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
訓練実習(1)	犬種ごとの性質を理解し、その性質に合わせた遊び方や扱い方を学びながらトレーニングに活かすための基本的な技術を身につける。また、訓練をする際の心構え、トレーニングの方法を講義で学習し、必要な知識を身につけて犬と接することで、現場で行われているトレーニング業務への理解を深める。	有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所
訓練実習(2)	自分のパートナー犬と共に仔犬の性質や犬種に合わせた適正な飼養管理を学ぶ。また、月齢に合わせたしつけを始め、アジリティー、家庭犬訓練のトレーニング方法を身につける。	有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所
訓練実習(3)	自分のパートナー犬で家庭犬訓練とアジリティーの高度なトレーニングを実践し、その犬の得意・不得意を見極めたトレーニング方法を学ぶ。最終的な目標として、家庭犬訓練中等科レベル、アジリティー I 度のトレーニング知識とコントロール技術を身につける。	有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所
ハンドリング実習	ドッグショーにおける基礎知識と審査基準、その際に求められる犬のコントロール技法を講義と実習で習得する。犬のキレイな立たせ方や歩かせ方、犬のコントロール方法を学び、グルーミング実習や訓練実習など他の授業でも応用できる技術を身につける。	有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- 1)日本ハンドメイドドッグソープ協会 主催「犬の手作り石鹸ビギナーコース」
犬の皮膚、被毛について学び、犬の手作り石鹸の作り方と実践を行った。
〔平成28年度実績・・・平成28年5月22日(日)〕
- 2)一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 主催「スキャンジナビアンクリップについて」
スキャンジナビアンクリップのトリミングについて学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年6月16日(木)〕
- 3)愛犬救命協会 主催「愛犬救命マニュアル」
緊急時の救命方法の説明と実技について学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年6月16日(木)〕
- 4)株式会社コジマ 主催「ドッグトレーニングのポイントについて」
トレーニングのポイント実践、飼い主へのトレーニング方法の伝え方について学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年7月20日(水)〕
- 5)株式会社 万福 主催「ペット防災指導員セミナー及び資格試験」
ペットとの同伴避難や防災グッズ、備蓄品について、法令と各自治体の対応例について学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年7月31日(日)〕
- 6)株式会社 プロキオン 主催「ドッグトレーニングセミナー」
犬と共に暮らすということについて、愛犬にストレスを与えずに楽しく学べるドッグトレーニング手法について学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年11月30日(水)〕
- 7)株式会社 プロキオン 主催『人と動物が共に生きる社会「動物が人に与えてくれるものとは」～事例から学ぶ日本のアニマルセラピー～』
動物が人間に与える影響と、セラピーアニマルに求められる能力について学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成29年3月26日(日)〕

②指導力の修得・向上のための研修等

- 1)「発達障害、メンタルヘルス不全などのグレーゾーン学生への学習支援、就職支援について」
青年期に多い精神疾患・発達障害について。また、そのような学生と接する際のコミュニケーションの取り方について学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年4月29日(金)〕
- 2)一般社団法人 全国ペット協会 主催「ペット業界就職説明会」
多数の動物関連企業が参加する就職説明会に参加し、業界が求める人材などについて学んだ。
〔平成28年度実績・・・平成28年5月24日(火)〕
- 3)仙台中警察署 主催「少年非行の現状について」
県内の少年非行の現状について、最近の犯罪動向についてなどを学んだ。

市内の少年非行の現状について、最近の犯罪動向についてなどを学んだ。

〔平成28年度実績・・・平成28年6月30日(木)〕

- 4) 仙台中央警察署生活安全課 主催「サイバー犯罪と正しいインターネットの使い方について」
インターネットを利用した犯罪やSNSの危険性と正しい使用方法について学んだ。

〔平成28年度実績・・・平成28年7月13日(水)〕

- 5) 仙台市管理センター 主催「動物取扱責任者研修」
動物業界の現状についてや衛生管理をする上での消毒方法について学んだ。

〔平成28年度実績・・・平成28年10月27日(木)〕

- 6) 一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会 主催「中堅教職員研修」
傾聴力や学生との関わり方について学んだ。

〔平成28年度実績・・・平成28年11月16日(水)〕

- 7) 株式会社 レオパレス21 主催「防犯セミナー」
一人暮らしの方が被害に遭いやすい犯罪の傾向や防犯について学んだ。

〔平成28年度実績・・・平成28年12月19日(月)〕

- 8) 仙台商工会議所仙台販売士協会 主催「小売業を取り巻く環境の変化とニュートレンド」
CVSやリユース市場の成長、ネット販売とショールーミングについて。また、マーケットの変化に対応する競争戦略と代表的な例について学んだ。

〔平成28年度実績・・・平成29年3月10日(金)〕

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- 1) ナチュラルドッグケアセラピスト 加藤ゆかり 主催「今すぐできるコミュニケーションアップの遊び&トレーニング法」
犬の気持ちをつかむ有効な遊び方、様々な遊び方のアイデア、クリックートレーニングについて学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年4月18日(火)〕

- 2) Dear.Children株式会社 主催「PULLER セミナー」
トレーニング玩具であるPLLERに関する知識と使い方の実技指導について学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年5月17日(水)〕

- 3) ドッグトレーナー・愛玩動物飼養管理士 菊地 久仁子 主催「犬の心理と行動」
犬のコミュニケーション手段とカーミングシグナルについて学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年5月25日(木)〕

- 4) JKC東北ブロック協議会 主催「ブードルの「パピークリップⅡ」の技術指導と実践」
パピークリップⅡのカットに関するポイントとデモンストレーションについて学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年6月15日(木)〕

- 5) ドッグサロン leaf dog 主催「グルーミングのためのハンドリングセミナー」
犬の特徴(環境特性・家畜変性)、犬の行動学、保定(順応・馴化・鋭敏化)について学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年6月21日(水)〕

- 6) 仙台市動物管理センター 主催「動物取扱者責任者研修」
動物愛護法改正、動物飼育の現状、動物に関する裁判事例と注意事項について学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年10月18日(水)〕

- 7) そらいる動物病院 主催「パピーケアセミナー」
パピークラスのメリットと開催方法について学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年11月2日(木)〕

② 指導力の修得・向上のための研修等

- 1) 一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会 主催「就職指導講話会」
就職活動に臨む上での心構えや準備などについて学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年6月5日(月)〕

- 2) 一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会 主催「中堅教職員研修」
他者への理解について学ぶ。

〔平成29年度予定・・・平成29年12月13日(水)〕

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役員職員及び学校関係者と評価する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	① 理念・目的・育成人材像 ② 学校における職業教育の特色 ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想 等
(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか 等

(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 等
(4)学修成果	①就職率の向上 ②資格取得率の向上 等
(5)学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備 等
(6)教育環境	①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制 等
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動 等
(8)財務	①学校の財務基盤 ②予算・収支計画 等
(9)法令等の遵守	①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護 等
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援 等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学生が受けている授業の様子や犬の訓練競技会・運動会などでイベント運営スタッフとして参加している様子、犬たちと校内で過ごしている姿をSNSに掲載するなど、教育活動の情報発信に力を入れた。在校生や保護者、オープンキャンパス参加者から発信内容について良い反応をいただくことがあり、今後も継続して発信していくよう努めていく。また、学生たちが日ごろ受けている授業を公開する授業参観の中で、保護者を対象とした就職説明会の実施をした。保護者からは、学生の学校での様子を見ることができたことやペット業界の就職に関する説明、希望者に対する個別面談の実施について良い評価をいただくことができたので、今後もこのような機会を設けていくこととする。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月24日現在

名前	所属	任期	種別
飯田 一成	一般社団法人 日本動物専門学校協会 事務局長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
菅江 修	サンペット仙台愛子店 チーフアドバイザー	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
安倍 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
磯村 直樹	Dog House Love Walk オーナー	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
渡邊 圭	ペットエコ ザ・モール長町店 店長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
遊佐 夏生	Dog House Love Walk スタッフ	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 平成29年11月

URL:<http://www.sugawara.ac.jp/pet/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2)各学科等の教育	各科の案内
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5)様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6)学生の生活支援	学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10)国際連携の状況	
(11)その他	オープンキャンパス

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.sugawara.ac.jp/pet/>

授業科目等の概要

(文化・教養 専門課程 PRO DOG TRAINER科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアガイダンス (1)	様々なシチュエーションでの電話対応、履歴書や自己アピール書類の作成をおこない、就職活動の基礎を学ぶ。	2	68	4	○			○	○			
○			キャリアガイダンス (2)	個人面談の実施や企業選びをする上で必要となる求人票の見方(社会保険・福利厚生)について学ぶ。	3	68	4	○			○	○			
○			キャリアデザイン (1)	将来の仕事をイメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学ぶ。	1	34	2	○			○			○	
○			キャリアデザイン (2)	企業研究をはじめ、仕事へのかかわり方、働く上で注意する点などをグループワークを交えて学ぶ。	2	34	2	○			○			○	
○			コミュニケーショントレーニング	ペット業界で求められる仕事への取り組み方や心構え、業界理解と接客に必要とされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。	1	68	4	○			○		○		
○			パソコン実習 (1)	「Microsoft Word」を使用しての文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得します。また、文書処理能力検定試験(ワープロ)の対策にも取り組む。	1	68	2	△		○	○			○	
○			パソコン実習 (2)	「Microsoft Excel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などに役立つ技術を学びます。文書処理能力検定試験(表計算)の対策にも取り組む。	2	68	2	△		○	○		○		
○			パソコン実習 (3)	1・2年次に学んだWord、Excelの応用技術を学び、さらに「Microsoft PowerPoint」を使用してのスライド作成から発表までを学ぶ。	3	68	2	△		○	○		○		
○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー(一般常識、職務知識、マナー・接遇等)について全般的に学びます。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。	1	34	2	○			○			○	
○			POP広告実習 (1)	POP広告の種類や色の効果、ペンの使い方など広告作成における知識を学び、実際の商品をモデルにした広告の作成を行い作成能力を身に付ける。	2	34	1	△		○	○			○	
○			POP広告実習 (2)	ペット用品や季節、客層などの状況に合わせた広告を実際に作成し、見やすくわかりやすい広告の作り方を学ぶ。	2	34	1	△		○	○			○	

○		POP広告実習 (3)	2年次までに身につけた作成技術を応用したPOP作成と動物のイラストを学び、より高度な内容の広告作りを身に付ける。	3	68	2	△		○	○				○
○		愛玩動物 飼養管理学	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1	68	4	○		○					○
		○	愛玩動物 飼養管理士 1級対策	「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物（ペット）の愛護及び適正飼養管理の普及啓発活動などを行うために必要な知識を学ぶ。	2	68	4	○		○				○
		○	愛玩動物 飼養管理士 2級対策	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	2	34	2	○		○			○	
○			犬学（1）	犬の起源や習性、本能、繁殖についてなど犬に関する知識を学ぶ。	1	68	4	○		○				○
○			犬学（2）	JKCで認定している各犬種についての知識とグループ毎の成り立ちと特徴、犬に関わる専門用語を学ぶ。	2	68	4	○		○				○
○			犬の健康管理	家庭での健康管理法や代表的な病気と症状、避妊・去勢のメリット・デメリットなどを正しく理解する。	2	68	4	○		○			○	
○			グルーミング (1)	グルーミング作業に必要な知識と技術を講義と実習で学びます。基本的作業に加え、安全に作業を進める上で必要な保定方法も身に付ける。	1	204	6	△		○	○			○
○			グルーミング (2)	グルーミング作業に加え、カットやクリッパーを使用しての作業の仕方を学びます。また、飼い主様に対しての接客方法も実技を通して学ぶ。	2	204	6	△		○	○			○
○			訓練実習（1）	犬の訓練やドッグスポーツなど実際の訓練所での業務について学び、犬への接し方、訓練方法を実践しながら身に付ける。	1	340	10	△		○		○		○
○			訓練実習（2）	1人1頭の子犬を購入し、そのパートナードッグと共に子犬の性質に合わせた飼養管理を学びます。また、月齢に合わせたしつけの方法も学ぶ。	2	340	10	△		○		○		○
○			訓練実習（3）	2年次から飼育を開始したパートナードッグと共に、より高度な訓練やドッグスポーツを学びます。また、訓練準士補の取得に向けた実習を行う。	3	340	10	△		○		○		○
○			ハンドリング実習	ドッグショーの仕組みとそこで活躍するハンドラーについて学び、各犬種のスタンダード（犬種標準）や犬のコントロール方法を身に付ける。	1	34	1	△		○		○		○
○			飼養管理実習	現場での犬の管理方法や犬舎の清掃方法、繁殖の現場を体験し学ぶ。	3	68	2			○		○		○

○		小動物 飼育管理学	ペットショップでの取り扱いが多い小動物の生態や飼育方法、代表的な病気について学ぶ。	2	34	2	○			○		○		
○		ドッグライフ アドバイザー (1)	犬の行動の仕組みを基に、仕草・表情を読み解き、しつけの根本となる動物の学習理論について学ぶ。	1	68	4	○			○		○		
○		ドッグライフ アドバイザー (2)	パピートレーニングの計画を立てシミュレーションを行うことで、しつけ教室開催の知識とお客様や犬への対応の仕方を身に付ける。	2	68	4	○			○		○		
○		ドッグライフ アドバイザー (3)	子犬のしつけから問題行動へのアドバイスなどお客様をトータル的にサポートできる知識を実習を通して学び身に付ける。	3	136	8	△			○	○		○	
○		トリミング	グルーミングの基礎技術を応用し、トリミング犬種に対応するための高度なカット方法を学ぶ。	3	272	8	△			○	○			○
○		猫学	猫の歴史から生態、品種、飼育管理方法など猫に関する基礎知識を学ぶ。	2	34	2	○			○		○		
○		ペットショップ 販売学(1)	動物倫理や犬猫販売時の確認点や説明時のポイント、注意点を学びます。また、フードやサークルなどの犬猫用品の特徴と使用方法も学ぶ。	1	68	4	○			○		○		
○		ペットショップ 販売学(2)	実習室を使用し、用品の展示方法やポイント、犬猫の飼育方法と注意点を学び、説明できる技術を身に付ける。	2	68	4	○			○		○		
○		ペットショップ 販売学(3)	接客時の話し方や商品アピールの仕方、購買時のお客様の心理なども学び、効果的な販売促進の方法を身に付ける。	3	68	4	○			○		○		
○		ホリスティック ケア(1)	リンパマッサージや食事のケアなどペットを外側・内面的にサポートする知識を身に付ける。	2	34	2	○		△	○				○
○		ホリスティック ケア(2)	アロマやシニアケアなど犬の生活全般を内側からケアする方法を学ぶ。	3	68	4	△			○	○			○
合計				36	科目	3,366単位時間(135 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者。また、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認めた者とする。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	17週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。